

平成26年度 学校評価計画

1 総務課

*総合評価：目標を大きく達成…A, 概ね目標を達成…B, 目標を達成できなかった…C

重点課題・重点目標	評価指標（と活動計画）	評価		次年度に残された課題と方策	
<p>(1) 学校評価のPDCAサイクルを確立し、実践内容の理解度を向上させる。</p>	評価指標	評価指標による達成度	総合評価		
	<p>①学校評価計画についての認知度を<u>80%以上</u>にする。</p> <p>②教職員による学校評価研修会の満足度について、「よい」と回答した割合を<u>90%以上</u>にする。</p>	<p>①</p> <p>②</p>	<p>(評定)</p> <p>(所見)</p>		
	活動計画	活動計画の実施状況			
	<p>①(ア) 教職員については、研修会等を通して評価計画についての共通理解を図る。</p> <p>①(イ) 保護者及び生徒については、リーフレットやホームページ等を活用し、適切な資料提示を心がけ周知を図る。</p> <p>②研修内容及び方法については、管理職・指導教諭等と協議し、一層の充実を図る。</p>	<p>①</p> <p>②</p>			
<p>(2) 総合的な学習の時間の充実を図る。</p>	評価指標	評価指標による達成度	総合評価		
	<p>①授業評価アンケートにおける授業満足度について、「満足している」と回答した割合を<u>90%以上</u>にする。</p>	<p>①</p>	<p>(評定)</p> <p>(所見)</p>		
	活動計画	活動計画の実施状況			
<p>①(ア)進路に関する講演会を各学年1回以上行い、進路意識の高揚を図る。</p> <p>①(イ)授業内容を充実させるために、各学年担当者が各学年及び授業担当者との協議し、計画を作成する。</p>	<p>①</p>				
<p>(3) PTA活動を活性化させる。</p>	評価指標	評価指標による達成度	総合評価		
	<p>①各行事参加人数を<u>昨年度実績より増やす</u>。</p> <p>②アンケート項目の「PTA活動は有効に機能しており、保護者がかかわるPTA行事について知っている」と回答した割合を<u>70%以上</u>にする。</p>	<p>①</p> <p>②</p>	<p>(評定)</p> <p>(所見)</p>		

	③全ての保護者配布文書をホームページに掲載する		
	活動計画	活動計画の実施状況	
	①②PTA活動についての案内文書や実施報告をホームページに掲載し、広報を図る。	① ②	

2 教務課

*総合評価：目標を大きく達成…A，概ね目標を達成…B，目標を達成できなかった…C

重点課題・重点目標	評価指標（と活動計画）	評価		次年度に残された課題と方策
<p>(1) 生徒の多様な進路目標の実現につながる教育課程を編制することで、主体的に学ぶ意欲・態度を育成する。</p>	評価指標	評価指標による達成度	総合評価	
	①本校の教育課程について、生徒の進路目標に対応し、個性を伸ばし将来の希望を実現できるよう工夫されているとの回答 <u>80%以上</u> をめざす。	①	(評定)	
	②教科会，教育課程検討委員会，職員会議等の開催回数を <u>学期に1回以上</u> 確保する。	②	(所見)	
	活動計画	活動計画の実施状況		
<p>(2) 生徒の目標を明確にさせ、主体的に学ぶ姿勢を育成することで、学習意欲の向上や学力向上を図る。</p>	評価指標	評価指標による達成度	総合評価	
	①教員において、教科指導における基礎基本の徹底を図っていると回答した者及び学習意欲の向上や学力向上への取組ができていると回答した者 <u>95%以上</u> をめざす。	①	(評定)	
	②各定期考査において、欠点保持者数を前学期比 <u>5%減少</u> をめざす。	②	(所見)	
	③各定期考査において、成績優秀者（80点以上）の割合を、 <u>25%以上</u> をめざす。	③		
	活動計画	活動計画の実施状況		
	①研究授業週間を設けて（年間2回），各教科	①		

	<p>における目標や効果的な指導方法等についての研究を行う。その際、授業評価を行うことで、指導方法の工夫や授業力の向上に努めるとともに、本校生徒の実態や課題について共通理解を図る機会を確保する。</p> <p>②各学期末考査前に「弱点教科補強指導講座」を開講し、苦手科目についてのポイントを指導することで、家庭学習の援助を行う。また長期休業中に「基礎学力養成講座」を開講し、基礎基本の定着に焦点を絞り、苦手科目の克服への援助を行うことで、欠点保持者数を減少させる。</p> <p>③集会等の機会を捉え、継続的な学習及び意欲の向上についての啓発を行う。</p>	②		
(3) 生徒が明確な目標を持ち、主体的に学ぶ態度の育成ができる学習環境づくりや学校運営を行う。	評価指標	評価指標による達成度	総合評価	
	①年間行事計画を見直し、生徒の進路目標等、生徒理解が可能なように年間3回の面接週間を確保する。	①	(評定)	
	②1・2年の年間授業時数を法定時数の80%以上をめざす。	②	(所見)	
	活動計画	活動計画の実施状況		
	①面接週間をはじめ、担任等が十分生徒理解に努められるよう、行事の見直しや校務の精選、学校支援システムの研究に努める。	①		
	②各課・学年等と連携を図り、日程等を調整することで、授業時数確保に努める。また、月曜日の授業については、特別時間割に組み込むなどバランスをとる。	②		

3 情報課

*総合評価：目標を大きく達成…A，概ね目標を達成…B，目標を達成できなかった…C

重点課題・重点目標	評価指標（と活動計画）	評価	次年度に残された課題と方策
(1) 学校支援システムの適正運用に努める。	評価指標	評価指標による達成度	総合評価
	①期限までに全ての出欠入力を完了する。	①	(評定)
	②期限までに全ての学事処理を完了する。	②	(所見)
	活動計画	活動計画の実施状況	

	① 1週間単位で出欠未入力を連絡する。	①		
	②入力方法についての研修や案内をテスト時や期末に必要な応じて行う。	②		

4 国際交流課

*総合評価：目標を大きく達成…A，概ね目標を達成…B，目標を達成できなかった…C

重点課題・重点目標	評価指標（と活動計画）	評価		次年度に残された課題と方策
(1) 国際交流に積極的に取り組み，外国のことに興味・関心を持った生徒を育てる。	評価指標	評価指標による達成度	総合評価	
	①異文化学習の機会を年間3回以上提供する。	①	(評定)	
	活動計画	活動計画の実施状況	(所見)	
	①(ア)外部講師を招いて，異文化講演会を実施する。 ①(イ)外国からの訪問団を積極的に受け入れる。	①		
(2) 英語及び異文化に十分に浸る機会を提供する。	評価指標	評価指標による達成度	総合評価	
	①海外研修の参加者を60名以上にする。	①	(評定)	
	活動計画	活動計画の実施状況	(所見)	
	①(ア)海外語学研修のパンフレットや説明会などPRを充実させる。 ①(イ)事前研修を充実させ事前指導を徹底する。	①		

5 特別活動課

*総合評価：目標を大きく達成…A，概ね目標を達成…B，目標を達成できなかった…C

重点課題・重点目標	評価指標（と活動計画）	評価		次年度に残された課題と方策
(1) 学校行事（学校祭・球技大会等）の活性化を通して，生徒の自主・自律の精神を育む。	評価指標	評価指標による達成度	総合評価	
	①学校評価アンケートにおいて，生徒一人一人が自己実現の場として学校行事を位置付け，自主的・積極的に取り組むことができたと回答した生徒の割合を90%以上にする。	①	(評定)	
	活動計画	活動計画の実施状況	(所見)	

	①生徒会役員が中心となり、各行事計画をたて、全校生徒が自己の役割や責任について自覚して取り組む態度を育てる。	①		
(2) クラスや部活動のみならず、それらを超えた幅広い人間関係の構築を図るという仲間作りを意識する。	評価指標	評価指標による達成度	総合評価	
	①学校評価アンケートにおいて「生徒会活動は生徒の幅広い人間関係の構築を図ることができた」と回答した生徒の割合を <u>85%以上</u> にする。	①	(評定)	
	活動計画	活動計画の実施状況	(所見)	
(3) 学校行事における自身の役割を認識し、公共心を持って活動するための社会性を育成する。	評価指標	評価指標による達成度	総合評価	
	①学校評価アンケートにおいて、「他者と円滑なコミュニケーションがとれ、仲間と協力し、行事に取り組めた」と回答した教職員及び保護者の割合を <u>80%以上</u> にする。	①	(評定)	
	活動計画	活動計画の実施状況	(所見)	
(4) 部活動の活性化を通して、生徒の自己実現を図り、何事にも前向きに取り組む能力や態度を育成する。	評価指標	評価指標による達成度	総合評価	
	①部活動参加率を全体生徒の <u>85%以上</u> にし、「部活動により学校生活が充実している」と回答した生徒の割合を <u>80%以上</u> にする。	①	(評定)	
	活動計画	活動計画の実施状況	活動計画	
	①新入生対象の部活動紹介を充実させる。また、各部活動での自主的で積極的な活動が実現できるよう工夫する。	①		

重点課題・重点目標	評価指標（と活動計画）	評価		次年度に残された課題と方策
(1) 読書活動を通して、主体的に学ぶ生徒を育成する。	評価指標	評価指標による達成度	総合評価	
	① 1回以上貸出を利用した生徒の割合を <u>70%以上</u> にする。	①	(評定)	
	活動計画	活動計画の実施状況	(所見)	
	①進路選択に必要な図書を充実させ、「図書館だより」や館内展示、壁面掲示で広報する。 ②国語科と連携して、毎学期図書館を使った学習を取り入れ、読書活動を推進する。	① ②		

7 環境・防災課

*総合評価：目標を大きく達成…A，概ね目標を達成…B，目標を達成できなかった…C

重点課題・重点目標	評価指標（と活動計画）	評価		次年度に残された課題と方策
(1) 校内外の環境美化及び環境問題に取り組む態度と実践力を育成する。	評価指標	評価指標による達成度	総合評価	
	①節電・節水を意識した学校生活を送り、 <u>前年度比3%</u> 使用量を節減する。	①	(評定)	
	②年間 <u>3回以上</u> 「ゴミ0の日」を設定し、学校全体で環境問題について考えさせるとともに環境委員以外の個人参加者を <u>毎回10人以上</u> とする。	②	(所見)	
	③環境美化に努め、清掃が行き届いているという実感を持つ生徒の割合を <u>80%以上</u> にする。	③		
	活動計画	活動計画の実施状況		
	①掲示物や環境委員からの声かけ等により、トイレでの日中の節電や移動教室時の消灯、節水の徹底を呼びかける。	①		
	②校内及び学校周辺、勝瑞駅等の清掃ボランティア活動を、環境委員や部活動生徒が中心となって積極的に行う。 ③チェックシートを利用して、ゴミ捨て時に分別を正確にするよう指導し、資源の再利用を呼びかける。	② ③		
(2) 防災教育を推進し、身近に潜む危険から自らを守るのみならず、災害発生時及	評価指標	評価指標による達成度	総合評価	

び事後に、進んで他の人々や地域の安全に役立つことができる、人材を育成する。	①地震・津波及び地震・火災対応避難訓練を、それぞれ年1回早期に実施する。	①	(評定)
	②1年生を対象とした、水難事故防止のための講習会等を、夏季休業前に1回実施する。	②	(所見)
	③災害発生時の対応について理解している生徒を100%にする。	③	
活動計画	活動計画の実施状況		
	①②③専門家の講演やDVD等の防災教材を通じて、さまざまな危険や災害に、自主的に対応できるよう、全校をあげて防災意識の向上に努める。	①②③	

8 人権教育課

*総合評価：目標を大きく達成…A，概ね目標を達成…B，目標を達成できなかった…C

重点課題・重点目標	評価指標（と活動計画）	評価		次年度に残された課題と方策
(1) ホームルーム活動（人権）の他、委員会活動や日々の活動など様々な機会を捉えて生徒の人権意識の高揚を図る。	評価指標	評価指標による達成度	総合評価	
	①人権意識が高まったと思える生徒の割合を80%以上にする	①	(評定)	
	②(ア)「人権委員会だより」を年8回発行する。 ②(イ)「人権委員会だより」を読んでいる生徒の割合を60%以上にする。	②	(所見)	
	活動計画	活動計画の実施状況		
	①ホームルーム活動（人権）では、自分の意見を発言し、他人の意見もしっかり聞くことができるなど生徒を主体的に参加させ体験させる。 ②「人権委員会だより」を生徒主体で作成し、家庭にも配布するなど積極的に活用する。	① ②		
(2) 人権教育の充実を図り、全職員でいじめ防止に向けて取り組む。	評価指標	評価指標による達成度	総合評価	
	①「いじめは人間として絶対許されない」と100%の生徒が認識している。	①	(評定)	
	②「先生はいじめ防止に真剣に取り組んでいる」と答えた生徒の割合を90%以上にする。	②		
	活動計画	活動計画の実施状況		
	①教育活動全体を通じて、お互いの人格を尊重	①		

	しあえる校内環境をつくる。 ②日常の生徒の言葉や態度に注意を払い、不適切な場合は指導する。	②		
(3) 職員の人権研修の機会を多く持って、人権意識の高揚を図る。	評価指標	評価指標による達成度	総合評価	
	①職員の人権研修の機会を持って、人権意識の高揚を図る。校外における人権研修会に参加する機会を職員が年1回以上持つ。	①	(評定)	
	②職員による人権教育評価において、「普遍的な視点からのアプローチ」と「個人人権課題」についてホームルーム活動や教科指導の中で、「実践できた」「だいたい実践できた」と回答した割合を90%以上にする。	②	活動計画	
	活動計画	評価指標による達成度		
	①人権教育課は、研修会や講演会の案内を事前にする。	①		
	②研究授業を中心に学年別研修をしっかりと行い、生徒にとって実りあるホームルーム活動にする。また、教科における授業についても人権教育を常に念頭において実施する。	②		

9 保健・教育相談課

*総合評価：目標を大きく達成…A，概ね目標を達成…B，目標を達成できなかった…C

重点課題・重点目標	評価指標（と活動計画）	評価		次年度に残された課題と方策
(1) 自分の心やからだの健康に関心を持ち、課題解決に向けて実践できる生徒を育成する。	評価指標	評価指標による達成度	総合評価	
	①学校評価アンケートにおける生徒の自己評価「あなたは、自分の心やからだの健康に関心を持ち、健康な生活を送るよう心がけている」に「あてはまる」と回答した生徒の割合が80%以上にする。	①	(評定)	
	②学校評価アンケートにおける「学校は生徒の安全や健康管理に十分注意している」及び「学校では健康や安全に配慮した指導が行われている」について、「あてはまる」と回答した生徒及び保護者の割合が80%以上にする。	②	(所見)	
	活動計画	活動計画の実施状況		
	①生徒保健委員会において生徒の自主的な活動を推進し、学校全体の生徒の保健意識の向上や啓発を図る。 (ア) 石けんの点検・補充 (イ) 文化祭で献血の啓発展示	①		

	(ウ) 保健ホームルーム活動 (I) 保健だよりのポイント説明・配布 ②各教科・各課と連携し、保健啓発を図る。 (ア) 保健だよりの発行を年間10回以上行う。 (イ) 健康に関する集団指導として、薬物乱用防止教室やメンタルヘルス講演会を行う。	②		
(2) 生徒が前向きで充実した学校生活を送れるように支援する。	評価指標	評価指標による達成度	総合評価	
	①毎週水曜日のカウンセリングデーの機会が生かされるように、年間予定の90%以上相談室で待機し、不安を抱える生徒に対応する。	①	(評定)	
	②教育相談だより「心のトビラ」を年4回発行する。	②	(所見)	
	③人間関係づくりワークショップを、人権教育課・1年学年団と協力して実施し、実施後の生徒アンケートで、「有意義であった」と答えた生徒の割合を80%以上にする。	③		
活動計画	活動計画の実施状況			
①カウンセリングデーの広報と、担任・学年団との連携に努め、相談室利用のガイダンスを行う。	①			
②「心のトビラ」の発行によって、不安や悩みに対処するための情報を、生徒・保護者に提供する。	②			
③各課・学年と連携し、協力して生徒の支援をめざす。	③			
(3) 特別支援の必要な生徒に、適切に対応できる支援体制を整える。	評価指標	評価指標による達成度	総合評価	
	①教職員に向けての特別支援教育についての研修会を年1回以上開催する。	①	(評定)	
	②特別支援教育について、保護者の理解を深める説明をする機会を年1回以上持つ。	②	(所見)	
	③不登校傾向にある生徒への適切な対応・支援を図り、休学する生徒を、全校生徒の0.5%以内に留める。	③		
活動計画	活動計画の実施状況			
①特別支援教育に関する研修会を持ち、生徒への対応の仕方等について理解を深める。	①			

	<p>②保護者に対しては、合格者招集や・PTA総会等において特別支援教育について説明する機会を持つ。</p> <p>③(7) 早期の対応ができるように、担任・学年団との連携を密にし、チームで支援する。</p> <p>③(1) 特別支援委員会では、教職員の共通理解を深めるとともに、保護者や外部医療機関・相談機関との連携を図る。</p>	<p>②</p> <p>③</p>		
--	---	-------------------	--	--

10 進学課

*総合評価：目標を大きく達成…A, 概ね目標を達成…B, 目標を達成できなかった…C

重点課題・重点目標	評価指標（と活動計画）	評価		次年度に残された課題と方策
<p>(1) 主体的な学習習慣及び確かな学力の育成を図る。</p> <p>ア 家庭学習の習慣化を図る。</p> <p>イ 確かな学力を身につける。</p>	評価指標	評価指標による達成度	総合評価	
	<p>①家庭学習（塾等での学習を含む）0時間の生徒を5%以内に、1時間以下の生徒を30%以内にする。平均家庭学習時間（塾等での学習を含む）「(学年) + 1」時間以上の生徒を60%以上にする。</p> <p>②「午後9時までには机の前に座る」習慣が身についている生徒の割合を70%以上にする。</p> <p>③「学校の授業内容をよく理解している」と回答した生徒の割合を80%以上にする。</p> <p>④1, 2年生の学年単位での補習欠席率を5%以内にする。</p> <p>⑤校外模擬試験における各科目の平均点について、校内平均点が全国平均点を上回るようにする。</p>	<p>①</p> <p>②</p> <p>③</p> <p>④</p> <p>⑤</p>	<p>(評定)</p> <p>(所見)</p>	
	活動計画	活動計画の実施状況		
<p>①進路説明会等で、家庭学習の現状とその効果を保護者に十分理解してもらい、協力を要請する。</p> <p>②学習及び生活実態調査を年3回（4月, 10月, 1月）実施し、現状の把握に努める。家庭学習が1時間未満の生徒には、保護者と連携しながらHR担任が面談を実施し、原因の解明と改善を図る。</p> <p>③「予習」「授業」「復習」の学習スタイルを徹底させ、また課題や確認テストを適宜実施し、授業内容の理解、定着を図る。</p> <p>④補習に参加することが必要であることを繰り返し</p>	<p>①</p> <p>②</p> <p>③</p> <p>④</p>			

	<p>返し指導する。遅刻・欠席が目立つ生徒には、HR担任、学年主任、進学課が連携し、段階的に指導を行う。</p> <p>⑤事前に過去問題を生徒に配布し、大切なポイントを指導する。また、模試終了後は訂正ノートを出させて、間違えたところを確認させる。</p>	⑤		
(2) キャリア教育を推進し、主体的に自分の進路を決定させ、早期に進路目標を設定させる。	評価指標	評価指標による達成度	総合評価	
	①1～2年次にオープンキャンパスやインターンシップなど体験的活動に1回以上参加した生徒の割合を80%以上にする。	①	(評定)	
	②2年生の11月末の進路希望調査で、「進路目標が明確になっている」と回答した生徒の割合を80%以上にする。	②	(所見)	
	活動計画	活動計画の実施状況		
	①体験的活動の広報に努め、各生徒に「報告シート」を提出させ、参加の有無を掌握し、2年次終了までに必ず1回は参加させる。また、自主的に、職業調べ、学問研究、大学・学部・学科研究に取り組ませる。	①		
	②生徒や保護者に随時進路情報を提供し、各自の進路目標を設定させ、その実現に向けて主体的に学習する姿勢を育成する。また「若楠」や「進路ニュース」を活用し、進路意識の高揚を図る。	②		

11 就職課

*総合評価：目標を大きく達成…A，概ね目標を達成…B，目標を達成できなかった…C

重点課題・重点目標	評価指標（と活動計画）	評価	次年度に残された課題と方策
(1) 進路希望を実現させる	評価指標	評価指標による達成度	総合評価
	①就職希望者との面談を定期的に行い、卒業時において、就職未決定者をゼロにする。	①	(評定)
	活動計画	活動計画の実施状況	(所見)
	①企業就職希望者については、職種・希望企業名を聞き、就職課が職場開拓を精力的に行う。また、公務員希望者には、公務員試験対策の専門家を学校に招いて講習会を実施するとともに、就職・公務員模試を実施し、進路を実現するための学力向上や基本的な生活習慣の確立・社	①	

	会性の体得を図る。			
(2) キャリア教育を推進する	評価指標	評価指標による達成度	総合評価	
	①就職ガイダンスや公務員セミナーなどの体験的活動を通して、 <u>就職を希望する生徒全員</u> が、卒業後に就きたい職業や進みたい方向を自分で決定する。	①	(評定)	
	活動計画	活動計画の実施状況	(所見)	
	①望ましい職業観・勤労観の育成に向け、職業別説明会(1年)、公務員セミナー、就職ガイダンス(2年、3年)等の体験活動を通じて職業についての理解や、働く意義を学ばせる。その上で、卒業後就職したい仕事を自らが見つけて努力していけるように導く。	①		

12 厚生課

*総合評価：目標を大きく達成…A，概ね目標を達成…B，目標を達成できなかった…C

重点課題・重点目標	評価指標 (と活動計画)	評価		次年度に残された課題と方策
(1) 奨学金・募金活動の内容を理解させ、期限を守らせる。	評価指標	評価指標による達成度	総合評価	
	①全ての生徒に情報を正しく伝え、締切日を <u>100%</u> 守らせる。	①	(評定)	
	②書類の取扱いに十分注意し、作成・発送におけるミスを <u>ゼロ</u> にする。	②		
	活動計画	活動計画の実施状況	(所見)	
	①全ての奨学金、募金について迅速・正確に案内する。締切日を守らせ、社会人としてのルールを身につけさせる。	①		
	②書類作成・発送等に十分注意をする。	②		
(2) 公共物を大切に使用する習慣を身につけた生徒を育てる。	評価指標	評価指標による達成度	総合評価	
	①セミナーハウスの使用について、正しく利用できた割合を <u>100%</u> にする。	①	(評定)	
	活動計画	活動計画の実施状況		
	①セミナーハウス使用後に確認を行う。	①		

13 生徒課

*総合評価：目標を大きく達成…A，概ね目標を達成…B，目標を達成できなかった…C

重点課題・重点目標	評価指標（と活動計画）	評価		次年度に残された課題と方策
(1) 生活習慣の確立を図り，健全な生活態度を育成する。	評価指標	評価指標による達成度	総合評価	
	①頭髪・服装の違反者を減少させ，再点検指導生徒の割合を <u>0.5%以内</u> にする。 ②遅刻者数を昨年度より <u>5%減少</u> させる。 ③生徒による「あいさつ運動」を <u>学期に1回実施</u> する。	① ② ③	(評定)	
	活動計画	活動計画の実施状況	(所見)	
	①月初めのクラス単位の服装頭髪点検，学期初めの学年一斉指導を実施するとともに，全職員による常時指導を徹底する。 ②遅刻指導週間を実施するとともに，多遅刻生徒の指導を徹底する。 ③生活委員会を中心に登校時の「あいさつ運動」を毎学期行う。	① ② ③		
(2) 交通ルールを遵守させ，安全意識の向上を図る。	評価指標	評価指標による達成度	総合評価	
	①自転車交通事故を <u>昨年度（15件）より減少</u> させる。	①	(評定)	
	活動計画	活動計画の実施状況	(所見)	
	①(ア)登校指導を月2回以上実施する。 ①(イ)自転車事故の状況について，職員・生徒・保護者の共通理解が図れるよう，情報を提供する。 ①(ウ)交通安全講話を実施する。	①		

14 1学年

*総合評価：目標を大きく達成…A，概ね目標を達成…B，目標を達成できなかった…C

重点課題・重点目標	評価指標（と活動計画）	評価		次年度に残された課題と方策
(1) 生徒の進路目標に応じたコース選択の実現を図るために，目標を明確化させ，自信を持って主体的に学ぶ態度を育成する。 ア 学習習慣の確立を図る。	評価指標	評価指標による達成度	総合評価	
	①家庭学習0時間の生徒を <u>ゼロ</u> にし，平均家庭学習時間を <u>120分以上</u> とする。 ②各学期ごとの欠点保有者を <u>5%以内</u> にする。	① ②	(評定)	

イ 基礎学力の定着を図る。 ウ 自己肯定感に裏打ちされた、望ましい職業観を育成する。	③「学校での取組が職業観の育成に役立っている」と答えた生徒の割合を <u>70%以上</u> にする。	③	(所見)
	活動計画	活動計画の実施状況	
	①学校の授業を中心に据えた、[予習→授業→復習]のサイクルの確立を図る。 ②定期考査前には、弱点教科の補講を実施して、苦手な教科の補強をめざす。また、欠点保有者との面談を行い、欠点の多い生徒については保護者を含めた三者面談を実施して改善策を検討する。 ③ホームルーム活動や学年集会において、適切な進路指導を行う。また、生徒の悩みや不安を把握し助言できるような支援体制を確立する。	① ② ③	
(2) 自ら進んで行動し、社会性や公共心を身につけた、豊かな人間性の育成を図る。 ア 基本的な生活習慣を確立する。 イ 優れた人権意識を持ち、将来リーダーとして活躍できる実践力を養成する。	評価指標	評価指標による達成度	総合評価
	①月5回以上の遅刻者を <u>ゼロ</u> にするとともに、頭髪・服装違反者を <u>ゼロ</u> にする。 ②生徒相互のよりよい人間関係を育成するための行事や集会を、 <u>各学期に1回</u> は行う。 ③「人権意識の向上」に関するアンケートにおいて、「あてはまる」と答えた生徒の割合を <u>70%以上</u> にする。	① ② ③	(評定)
	活動計画	活動計画の実施状況	(所見)
	①全ての教員が生徒の生活指導に係わり、指導・支援する。また、多遅刻者、早朝補習の多欠席者について保護者にも協力を求める。頭髪・服装検査で違反が目立つ生徒については、担任・学年主任・生徒課長・学年団が情報を共有し、指導する。 ②人間関係づくりワークショップ（アサーション・トレーニング）を実施するとともに、学校行事や集会において、人間関係を大切にしたい行動がとれるよう、時節に応じた指導を行う。 ③人権問題学習を通して、人権意識の高揚と人権尊重の態度を図るとともに、あらゆる機会を捉え、人権感覚・国際感覚の育成に向けてすべての教員で支援する。	① ② ③	(所見)

重点課題・重点目標	評価指標（と活動計画）	評価		次年度に残された課題と方策
<p>(1) よき習慣をつくる。</p> <p>ア 服装・頭髪を自発的に整えさせる。 イ あいさつを自発的にし、周囲の人に配慮ある言動を取り、よい人間関係を築けるようにする。 ウ 遅刻をしない。 エ 清掃に自発的に取り組む。</p>	<p>評価指標</p> <p>①月5回以上の遅刻者をゼロにするとともに、頭髪・服装の違反者を減少させ、再点検指導生徒の割合を<u>0.5%以内</u>にする。</p> <p>②学校評価アンケートにおいて「自らあいさつができる」と答えた生徒の割合を<u>90%以上</u>にする。</p> <p>③学校評価アンケートにおいて「清掃に協力して取り組んだ」と答えた生徒の割合を<u>70%以上</u>にする。</p>	<p>評価指標による達成度</p>	<p>総合評価</p>	
		<p>①</p>	<p>(評定)</p>	
	<p>活動計画</p> <p>①服装や頭髪の違反者や遅刻が目立つ生徒に対しては、保護者の協力を得る。</p> <p>②登校指導などであいさつを交わし合うきっかけを作る。</p> <p>③分担箇所を明確にして責任を持たせる。</p>	<p>②</p> <p>③</p>	<p>(所見)</p>	
		<p>活動計画の実施状況</p>		
<p>(2) 中核の学年として、勉強にも部活にも目標意識を持った学校生活を送り、自分の進路を真剣に考えさせる。</p>	<p>評価指標</p> <p>①学校評価アンケートにおいて「学校生活は充実しており、目標を持って授業や行事に主体的に取り組んでいる」と答えた生徒の割合を<u>90%以上</u>にする。</p> <p>②進路に関することを含めた面談を、各クラスで<u>学期に1回</u>実施する。</p>	<p>評価指標による達成度</p>	<p>総合評価</p>	
	<p>活動計画</p> <p>①「生活記録」を持たせて、月初めにはその月の目標を立てるようにさせる。</p> <p>②進路に関することを含めて、各クラスで面談を計画的に実施する。</p>	<p>①</p> <p>②</p>	<p>(評定)</p>	
		<p>活動計画の実施状況</p>		
		<p>①「生活記録」を持たせて、月初めにはその月の目標を立てるようにさせる。</p> <p>②進路に関することを含めて、各クラスで面談を計画的に実施する。</p>	<p>①</p> <p>②</p>	
<p>(3) 毎日の十分な家庭学習時間や読書習慣を定着させ、学力の伸長を図る。</p>	<p>評価指標</p>	<p>評価指標による達成度</p>	<p>総合評価</p>	
	<p>①家庭学習時間2時間以上の生徒を<u>60%以上</u>にする。</p>	<p>①</p>	<p>(評定)</p>	
	<p>②週1時間以上読書をしている生徒を<u>60%以</u></p>	<p>②</p>	<p>(所見)</p>	

	上にする。		
	活動計画	活動計画の実施状況	
	①生活実態調査の実施や「生活記録」を毎月発行して書かせることで、家庭学習時間や読書時間の実態を把握した上で指導に生かす。	①	
	②「読書レポート」を国語(現代文)で提出させ、図書館の本の貸出の推進や読書習慣の形成を図る。	②	

16 3学年

*総合評価：目標を大きく達成…A，概ね目標を達成…B，目標を達成できなかった…C

重点課題・重点目標	評価指標（と活動計画）	評価		次年度に残された課題と方策
(1) 生徒の進路目標を明確化し、自信を持って主体的に学ぶ態度を育成する。 ア 学習習慣の確立を図る。 イ 基礎学力の向上を図る。 ウ 進路目標の達成をめざす。 。	評価指標	評価指標による達成度	総合評価	
	①家庭学習1時間未満の生徒を5%以内にし、平均家庭学習時間を240分以上とする。	①	(評定)	
	② 1, 2学期の欠点保有者を3%以内にする。	②	(所見)	
	③(ア) 進学希望者に対して校外模試を積極的に受験させ、欠席率を3%以内にする。 ③(イ) 就職希望者との面談を定期的に行い、卒業段階において、就職未決定者をゼロにする。 ③(ウ) 進路実現に向けて、学期に1回進路検討会を開催する。	③		
	活動計画	活動計画の実施状況		
	①生活記録の徹底・活用、学年教科担任間の連携を図る。	①		
	②定期考査前には、弱点教科の補講を実施して、苦手な教科の補強をめざす。また、欠点保有者との面談を行い、欠点の多い生徒については保護者を含めた三者面談を実施して改善策を検討する。	②		
	③(ア) 各教科で模試の検討を行い、過去問の配布や単元ごとの弱点強化に努める。 ③(イ) 就職課と連携をとり、就職希望者への情報提供と就職対策の指導を徹底する。 ③(ウ) 進路検討会や担任会において情報の共有を図りながら一人一人の生徒の進路実現を支援する。	③		

<p>(2) 自ら進んで行動し、社会性や公共心を身につけた、豊かな人間性の育成を図る。</p> <p>ア 基本的な生活習慣を確立する。</p> <p>イ 自主的に行動できる主体性を育成する。</p> <p>ウ 優れた人権意識を持ち、円滑な人間関係を築く社会性を育成する。</p>	評価指標	評価指標による達成度	総合評価
	①月5回以上の遅刻者をゼロにするとともに、頭髪・服装違反者をゼロにする。	①	(評定)
	②朝のあいさつが出来る生徒を90%以上にする。	②	(所見)
	③生徒相互のよりよい人間関係を育成するための行事や集会を、各学期に1回以上行う。	③	
活動計画	活動計画の実施状況		
	①全ての教員が生徒の生活指導に関わり、指導・支援する。また、保護者にも協力を求める。頭髪・服装検査で違反が目立つ生徒については、担任・学年主任・生徒課・学年団が情報を共有し、指導する。	①	
	②全ての教員が声かけをする。また学校行事や集会において、主体的に取り組む姿勢や行動を促すよう、指導する。	②	
	③人権問題学習を通して、人権意識の高揚と人権尊重の態度を図るとともに、あらゆる機会を捉え、全ての教員が人権感覚の育成に向けて支援する。	③	

17 国語科

*総合評価：目標を大きく達成…A，概ね目標を達成…B，目標を達成できなかった…C

重点課題・重点目標	評価指標（と活動計画）	評価		次年度に残された課題と方策
<p>(1) 家庭学習の習慣をつけさせ、主体的に学ぶ態度を育成する。</p>	評価指標	評価指標による達成度	総合評価	
	①週末課題の提出率を70%以上にする。	①	(評定)	
	活動計画	活動計画の実施状況	(所見)	
	①(ア)生徒の状況に応じた適切な課題を与える。 ①(イ)週末課題と実力テストの範囲を一致させ、計画的な学習を意識づける。	①		
<p>(2) 基礎学力の向上を図る。</p>	評価指標	評価指標による達成度	総合評価	
	①実力テストにおける漢字や古文単語の問題で、50%以上正解した生徒を50%以上にする。	①	(評定)	
	活動計画	活動計画の実施状況	(所見)	

	①(7)1年生は漢字テストを、2年生は古文単語の小テストを年間20回程度実施し、実力テストの範囲に含める。 ①(イ)授業においても、漢字や古文単語を繰り返し学習させる。	①		
(3) 読書の機会を増やし、読解力や表現力を高めることで、発展的学力の伸長につなげる。	評価指標	評価指標による達成度	総合評価	
	①図書の出借をした生徒を <u>70%以上</u> にする。	①	(評定)	
	②読書感想文や読書レポートを提出した生徒を <u>80%以上</u> にする。	②	(所見)	
	活動計画	活動計画の実施状況		
	①毎学期図書館を利用した学習を実施し、調べ学習や読書を促す。	①		
	②長期休業中には、読書感想文や読書レポートを課す。	②		

18 地歴・公民科

*総合評価：目標を大きく達成…A，概ね目標を達成…B，目標を達成できなかった…C

重点課題・重点目標	評価指標（と活動計画）	評価		次年度に残された課題と方策
(1) 演習課題，単元テストなどを実施し，学習習慣の定着と基礎学力の向上を図る。	評価指標	評価指標による達成度	総合評価	
	①演習課題の提出が <u>95%以上</u> にする。	①	(評定)	
	②定期考査の欠点者数を <u>ゼロ</u> にする。	②		
	活動計画	活動計画の実施状況	(所見)	
	①演習課題を確実に提出させ，基礎学力の向上につなげる。	①		
	②単元テストや要点整理プリントを活用し，家庭学習習慣の定着を図る。	②		
(2) 自ら考える態度や知識を主体的に使いこなせる表現力を培う。	評価指標	評価指標による達成度	総合評価	
	①時事問題や社会的事象に興味を持たせ， <u>各学期に1回以上</u> は文章による表現をさせる。	①	(評定)	
	②資料等を活用し， <u>週1回</u> は作業学習・思考力を問う問題を解かせる。	②	(所見)	

	活動計画	活動計画の実施状況		
	①時事問題テストなどを通して、時事問題を身近に感じさせ、社会的事象について自分なりの意見を持たせる。	①		
	②課題を提示し、その課題を各科目の観点から考えさせ、要約や説明をさせる。	②		

19 数学科

*総合評価：目標を大きく達成…A，概ね目標を達成…B，目標を達成できなかった…C

重点課題・重点目標	評価指標（と活動計画）	評価		次年度に残された課題と方策
(1) 計画的な家庭学習を促し、基礎学力の定着を図る。	評価指標	評価指標による達成度	総合評価	
	①確認テストの合格率を <u>80%以上</u> にする。	①	(評定)	
	②課題等の提出率を <u>80%以上</u> にする。	②	(所見)	
	③「授業の理解度」に関するアンケートにおいて、「概ね理解できている」と答えた生徒の割合を <u>80%以上</u> にする。	③		
活動計画	活動計画の実施状況			
	①単元の学習目標を達成するために確認テストを行う。不合格者（60点未満）に対して再指導・再テストを行い徹底を図る。	①		
	②「週末課題」，「日々題」等を実施する。効果的な学習ができるように内容を吟味し，学習状況に合わせて，取り組みやすい課題を与える。	②		
	③学期ごとに授業の理解度を調査するとともに生徒の声を授業改善に反映させる。	③		

20 理科

*総合評価：目標を大きく達成…A，概ね目標を達成…B，目標を達成できなかった…C

重点課題・重点目標	評価指標（と活動計画）	評価		次年度に残された課題と方策
(1) 理科に対する興味・関心を高め，自ら学ぶ姿勢を身につけるとともに，科学的なものの見方・考え方を養う。	評価指標	評価指標による達成度	総合評価	
	①実験・観察を年間5回以上実施する。	①	(評定)	
	②授業評価アンケートにおいて、「教科に対して興味・関心がある」と回答した生徒を <u>80%以上</u> にする。	②	(所見)	

	活動計画	活動計画の実施状況		
	①生徒実験だけでなく、演示実験もできるだけ実施し、観察・考察の機会を多く設ける。	①		
	②生徒が作成する実験レポートやアンケート等により生徒の理解度・考察力を確認する。	②		
(2) 学習習慣の定着と学力の向上を図る。	評価指標	評価指標による達成度	総合評価	
	①授業評価アンケートにおいて、生徒の理解度、授業内容の満足度をともに <u>80%以上</u> にする。	①	(評定)	
	②家庭学習時間を <u>週2時間以上</u> にする。	②	(所見)	
	活動計画	活動計画の実施状況		
	①わかる授業、楽しい授業、生徒の満足度の高い授業を行う。	①		
	②小单元ごとに整理プリントや問題演習を課す。	②		

21 保健体育科

*総合評価：目標を大きく達成…A，概ね目標を達成…B，目標を達成できなかった…C

重点課題・重点目標	評価指標（と活動計画）	評価	次年度に残された課題と方策
(1) 普通救命講習を受講させる。	評価指標	評価指標による達成度	総合評価
	① <u>1年生全員</u> が普通救命講習を修了する。	①	(評定)
	活動計画	活動計画の実施状況	(所見)
	①板野東部消防組合と連携し、心肺蘇生法の実習を実施し、実習を通して命の大切さを理解させる。	①	
(2) スポーツテストを利用し、体力の向上を図る。(特に女子の体力強化に重点を置く)	評価指標	評価指標による達成度	総合評価
	①スポーツテストの総合評価AまたはBの伸び率を、 <u>男子3%以上・女子は現状維持</u> させる。	①	(評定)
	②スポーツテストの生徒参加率を <u>90%以上</u> にする。	②	(所見)

	③持久走の自己記録更新者を <u>40%以上</u> にする。		
活動計画	活動計画の実施状況		
①毎時間ランニングと補強を取り入れる（授業開始時）。また、毎時間体づくり運動を実施し、運動量を確保する。	①		
②授業を利用してスポーツテストを実施する。健康面に配慮して、参加できる環境作りに努める。	②		
③持久走の実施時間数を7時間から8時間に増やす。	③		

22-1 芸術科（音楽）

*総合評価：目標を大きく達成…A，概ね目標を達成…B，目標を達成できなかった…C

重点課題・重点目標	評価指標（と活動計画）	評価		次年度に残された課題と方策
(1) 音楽の諸領域に幅広く親しみ、主体的に授業に取り組む。	評価指標	評価指標による達成度	総合評価	
	①全授業時数のうち <u>30%以上</u> の時間、自己評価表又はレポートを提出させる。	①	(評定)	
	②グループ演奏の全練習量の中に占める「合わせ練習」の割合を <u>30%以上</u> にする。	②		
	活動計画	活動計画の実施状況	(所見)	
①音楽の諸領域を幅広く学習することで、音楽を深く味わおうとする意欲を育てる。	①			
②グループで合わせる練習を通して自分の責任を把握するとともに、協力することの大切さを学び、コミュニケーション能力を育てる。	②			

22-2 芸術科（美術）

*総合評価：目標を大きく達成…A，概ね目標を達成…B，目標を達成できなかった…C

重点課題・重点目標	評価指標（と活動計画）	評価		次年度に残された課題と方策
(1) 授業に意欲的に参加し、自己の考えや感動をもとに、個性的、主体的に表現活動や鑑賞に取り組む。	評価指標	評価指標による達成度	総合評価	
	①授業評価アンケートにおける「基本的なものの見方や表現方法について理解できている」で「できている」と答えた生徒の割合を <u>90%以上</u> にする。	①	(評定)	
			(所見)	

②主体的・意欲的に個性的な自己表現活動に取り組んでいるかを把握するために、作品の進行チェックシートを <u>作品ごと</u> に提出させる。	②		
③期限までに生徒自身が納得のいく作品を完成させるよう配慮し、作品の提出率を <u>100%</u> にする。	③		
活動計画	活動計画の実施状況		
①授業において、興味・関心を持たせる指導を心がける。	①		
②適切な助言により生徒の個性的な表現を伸長するよう心がける。	②		
③進行が遅い生徒には放課後、個別指導的な時間を設け、それを補う。	③		

22-3 芸術科（書道）

*総合評価：目標を大きく達成…A，概ね目標を達成…B，目標を達成できなかった…C

重点課題・重点目標	評価指標（と活動計画）	評価		次年度に残された課題と方策
（1）授業に意欲的に取り組み、書を愛好する心情を育て、感性豊かで主体的な表現活動や鑑賞に取り組む。	評価指標	評価指標による達成度	総合評価	
	①授業評価アンケートの「興味・関心がある」「充実している」生徒の割合を <u>90%以上</u> にする。	①	（評定）	
	②単元ごとの生徒の作品や自己評価カードの提出率を <u>100%</u> にする。	②	（所見）	
	③創作力を高めるために、 <u>年間3回以上</u> 創作指導をし、書道作品を通しての自己表現につなげる。	③		
	活動計画	活動計画の実施状況		
①鑑賞力を養うために、校外での展覧会を案内したり、機会を捉え古典作品の紹介をする。	①			
②視聴覚機器を用いて範書し、実技の向上を図る。机間巡視を効果的に行い、個別指導を行う。	②			
③生徒の個性を尊重し、互いの作品を尊重するよう適切な助言を心がける。	③			

23 英語科

*総合評価：目標を大きく達成…A，概ね目標を達成…B，目標を達成できなかった…C

重点課題・重点目標	評価指標（と活動計画）	評価		次年度に残された課題と方策
(1) 英語に興味を持ち、自主的に英語学習に取り組む生徒を育てる。	評価指標	評価指標による達成度	総合評価	
	①英語への関心がある生徒の割合を <u>80%以上</u> にする。	①	(評定)	
	活動計画	活動計画の実施状況	(所見)	
	①(ア)生徒の英語への関心を高める教材等を作成する。 ①(イ)生徒の英語への関心を高める掲示物を月1回作成する。	①		
(2) 生徒の英語の基礎力を充実させる。(1, 2年生)	評価指標	評価指標による達成度	総合評価	
	①暗唱文テストを <u>週2回</u> 実施する。	①	(評定) (
	活動計画	活動計画の実施状況	(所見)	
	①(ア)朝補習と朝のショートホームルームの間の時間に暗唱文を暗記させ、授業中の暗唱文テストを実施する。 ①(イ)不合格者に対し再テストを実施する。	①		
(3) 生徒の英語の応用力を伸ばす。(3年生)	評価指標	評価指標による達成度	総合評価	
	①応用問題を <u>毎日</u> 解かせる。	①	(評定)	
	活動計画	活動計画の実施状況	(所見)	
	①応用問題の <u>日々</u> 題を3年生全員に配布する。	①		

2.4 家庭科

*総合評価：目標を大きく達成…A，概ね目標を達成…B，目標を達成できなかった…C

重点課題・重点目標	評価指標（と活動計画）	評価		次年度に残された課題と方策
(1) 学校で学んだ知識と技術を生かして、各自の家庭生活や地域の生活を見つめ、改善充実しようとする積極的な態度を育てる。	評価指標	評価指標による達成度	総合評価	
	①実験・実習については、 <u>実施率50%</u> をめざし、基本的な技術の定着を図る。	①	(評定)	
	②課題の提出率 <u>80%以上</u> にする。	②	(所見)	
	活動計画	活動計画の実施状況		

	①調理実習を5回取り入れる。	①		
	②学習ノートを定期的に提出させ、取組状況を確認する。	②		

25 情報科

*総合評価：目標を大きく達成…A，概ね目標を達成…B，目標を達成できなかった…C

重点課題・重点目標	評価指標（と活動計画）	評価		次年度に残された課題と方策
(1) 情報モラルについて理解し、正しく実践する力を身につけさせる。	評価指標	評価指標による達成度	総合評価	
	①定期考査で情報モラルに関する問題の正答率を <u>平均70%以上</u> にする。	①	(評定)	
	活動計画	活動計画の実施状況	(所見)	
	①定期的に情報モラル小テストを行い、知識の定着を図る。 ②情報モラルに関する事例を数多く提示し、意識を高める。	① ②		
(2) 高度情報化社会を生き抜くための基礎知識や技術を身につけさせる。	評価指標	評価指標による達成度	総合評価	
	①実技テストにおける評価を <u>平均75点以上</u> にする。	①	(評定)	
	活動計画	活動計画の実施状況	(所見)	
	①生徒個々の能力に応じた課題を用意する。 ②こまめな机間巡視で遅れがちな生徒に対応する。	① ②		